

# みんな

## よくなれ

令和五年一月三十一日発行

29 回生通信  
第 13 号

### 気がつけばもうこんな時間：！！

副担任 中野 雅志 先生

え！？もうこんな時間か！と今まで何度思ったことでしょうか。テスト勉強のとき、提出物を仕上げるとき、そして年末を迎えたとき。年末は高校時代の仲間とフットサルをするのが恒例なのですが、年末は高校の同級生がアキレス腱の断裂という大怪我をしてしまいました。もうそんな年齢か、とも思いました。さて、29 回生のみんなが入学したのはつい最近のことのように思っていました。もう 2023 年をむかえ、一年生の勉強もまとめの段階に入り次のステップへの準備のときになりました。そして後輩たちをむかえ先輩になります。では、何をどのように取り組むべきなのか。今、私が大切にしている言葉は「心が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる」です。これは、アメリカの哲学者・心理学者のウィリアム・ジェームズやヒンドゥー教やガンディーやマーガレット・サッチャーの言葉とも言われることがあります。また、野球のイチローさん、松井秀喜さんや野村克也さん、サッカーの中村俊輔さんの著書にも登場する言葉でもあります。シンプルな言葉ですが、最初の「心を変える」とはなんなのでしょう。様々な解釈があるなかで私なりの解釈になりますが「心意識」とすれば分かりやすいかもしれません。ではどんな意識を持つてほしいか。それは、「一生懸命さを忘れずコツコツと積み上げること」です。みんなの文理選択、物理・生物選択、世界史・日本史選択にたくさん悩んだ姿を見ました。また新科目も設定され、この教科を学んできた先輩たちがいない中で自分たちなりにたくさん学んできました。勉強や部活において、ああでもないこうでもないという悩みや挫折、粘り強く投げださずにやる姿をたくさん見てきました。まさに今までやってきた一生懸命さを忘れずコツコツと積み上げてほしいです。それが足りなかった、できてなかったと思うのであれば少しでも意識を変えてほしいと思います。その意識が大きな結果へとつながるはずですよ。私は「後回しにするな」と先生や友達から怒られたことがあります。つい面倒くさくなって時間もあるしまた今度でいいやとしてしまいます。後回しにするか何らかの不都合が生じるかも、忘れていくかも、チャンスがなくなっていくかも、タイミングが悪くなっているかもしれない。まとまりのない内容ですが、私からみんなに伝えたいことは単純です。時間は有限ですぐに過ぎてしまうので、目の前のことに一生懸命に後回しにせず、自分にできることをコツコツと積み上げてほしいです。私も、遠くの目標を見て、また目の前のことを見つめて一生懸命にコツコツ取り組み、やっていきます！



### 第四回高大連携授業

一月十七日（火）六・七時間目に第四回高大連携授業が行われました。場所は先端科学技術支援センターの大ホールでした。さて、一月十七日は二十八年前に阪神淡路大震災が発生した日です。兵庫県南部は震度七の地震によって、六千人を超える犠牲者がでました。神戸市の東部の灘区では家屋の倒壊や、西部の長田区では火災によっても多数の人々が亡くなりました。

この日を忘れず、防災の日とするための第四回高大連携授業でした。講師は紅谷昇平（べにやしろうへい）先生です。先生は兵庫県立大学大学院減災復興政策研究室の准教授です。

「災害」には、自然現象としての災害と、社会被害としての災害があります。前者の災害は防ぐことはできませんが、後者の災害については対策を取ることで被害を軽減していくことができます。では、どのような対策をするべきなのか、一人ひとりに何ができるのか。分かりやすく丁寧に講義してくださいました。

今回も 29 回生が運営を担当しました。質疑応答では五名が質問をしました。講師紹介や謝辞の言葉と司会者の感想を掲載します。

- 運営担当者
- |      |    |    |     |
|------|----|----|-----|
| 司会   | 二組 | 大塚 | 和々成 |
| 講師紹介 | 四組 | 西垣 | うた  |
| 謝辞   | 四組 | 西面 | 妃奈乃 |
| 記録   | 三組 | 藤井 | 悠成  |
| マイク  | 五組 | 中井 | 翔一朗 |
|      |    | 大村 | 泰智  |
- ※敬称略



講師紹介 四組 西垣 うた さん

先生は大学の学部では構造力学と大学院修士課程では都市計画を学ばれました。大学院の一回生のときに、阪神・淡路大震災を経験され、それをきっかけに被災地での調査を始められました。大学院を卒業後働きながら大学院博士課程で学び、地域産業と復興まちづくりでの研究で博士の学位を取得されました。現在は人と防災未来センター、神戸大学、兵庫県立大学で防災や復興の研究に携わっていらつしやいます。

感想 二組 大塚 和々成 さん

一年生最後の高大連携授業では、災害について学びました。災害は怖い。気をつけようということとはよく聞かれますが、専門家の方から災害についてとても詳しく教えてもらうことはなかなかないので、とても良い機会になりました。近代の技術をもってしても、精密な地震被害の予測はできません。今測には誤差があるということに驚かされました。今回学べたことを、今後の生活に活かしていきたいようにしたいです。



謝辞 四組 西面 妃奈乃 さん

本日は、非常に興味深い講義をありがとうございました。私がこの講義を聞いて印象に残ったのは、序盤ですけど地震の起こる場所や地震の規模を予測することはたとえ現代の科学をもってしても難しいということです。地震だけでなく、災害、その中でもハザードの方の予測は困難であるからこそ、対策をすることが大切なのだと改めて感じました。

今日：一月十七日はさまざまな人々、その中でも実際に震災の被害に遭われた方や身内がそうなった人が、28 年前を思い出すでしょう。そしてメディアがそれを取り上げ放送する。遺族の方々の様子がテレビに映されることが多いような気がしますが、それを見て「ああ、そんなことがあったんだ」「へえ、可哀そうだなあ」こう思うだけではいけないのでしょうか。事件であれ事故であれ災害であれ、悲劇が語り継がれることの「意味」を考えなければなりません。

語り継がれてきたことによって、私たちは災害による被害をどう防ぐか、ということに意識を向けることができます。そして語り継がれてきたことによって、今日私たちが先生の講義を聞いて、災害についての知識を深めることができたことにも繋がったのだと思います。改めて、本日は素晴らしい講義をありがとうございました。

### 体育十二分間走（耐寒マラソン）

年明けの体育の授業で十二分間走が行われました。わずか十二分ですが、女子のトップは二四七〇m、男子のトップは三四八〇mも走っています。それでは男女の上位者を紹介します。また一位になった人の感想を掲載します。おめでとうございました。

- |    |    |    |    |    |    |    |    |             |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|----|
| 女子 | 一位 | 三組 | 矢巻 | 朋佳 | 男子 | 一位 | 四組 | 中村          | 亮介 |
|    | 二位 | 二組 | 正野 | 心愛 |    | 二位 | 四組 | 藤田          | 湧喜 |
|    | 三位 | 一組 | 駒田 | 七咲 |    | 三位 | 三組 | 小松          | 暖  |
|    | 一組 | 山本 | ひな |    |    | ※  | ※  | 敬称略         |    |
|    | 五組 | 日野 | 成美 |    |    | ※  | ※  | 女子三位は三名が同距離 |    |

長距離走 女子一位 三組 矢巻 朋佳 さん

保育園の運動会のリレーでビリでした。そんな私が走ることで一位になれるなんて思いませんでした。私の母も運動が苦手だったため、スポーツの良い結果に対して、いつも大変驚きながら優しく褒めてくれます。走っている時はもちろん苦しいのですが、今回もきつと褒めてくれる！そう思うと力が湧き頑張る走り方ができました。この結果を家族に知らせるのが楽しみです。ありがとうございます。

My Race Plan 男子一位 四組 中村 亮介 さん

私が 12 分間走で一位をとれた一番の理由はレースプランにあると思います。私は 50m 走のタイムが 8・0 秒と絶望的に短距離が遅く、ラストパートは弱いので、先行逃げ切りをするつもりで走りました。最初の 1km は 3 分 1 秒で想定より速いペースでしたが意外と余裕がありました。その時点で独走できていたので私の作戦勝ちで最終的に学年一位でした。このようにレースプランは大切なのでこれからもいろいろ試してみたいです。

### 29回生の活躍

#### 数学コンテスト

年末、最後の登校日の十二月二十三日(金)に数学コンテストが行われました。附属高校伝統の行事ともいえるコンテストです。一年生は数学I Aを受験します。二・三年生は数学I Aと数学II Bを受験します。全学年が同じ試験問題に挑戦し、上位三位以上の人が毎年表彰されています。

昨年は、数学I Aも数学II Bも、三年生が八位までの上位を独占しました。受験勉強をしている三年生の方が得点しやすいという傾向があります。今回、29回生は数学I Aを受験しました。五組の中井さんが97点を取って四位に入賞しました。一年生での入賞は快挙と言えます。また、五組の山本さんが88点という高得点を取って、学年での二位になりました。この二人に数学コンテストでの上位入賞や、数学への取り組みなどについて書いてもらいました。



- 全学年第四位
- 数学I A 97点 五組 中井 翔一朗 さん
- 29回生学年二位
- 数学I A 88点 五組 山本 稀央 さん

天才より賢い僕たち 五組 中井 翔一朗 さん  
もう一カ月前のことですが、上位表彰ありがとうございます。数学って現代のようにとても難解になったのは本当に最近のことです。二次方程式の解は七世紀ぐらい、微分なんて十七世紀ころなんです。何が言いたいかというと、僕たちはピタゴラスとかフィボナッチよりも賢いんじゃないかってことです。定積分の起源が紀元前とか口が裂けても言えないけれど、世紀の天才よりも賢いという自信を持って皆さんも数学を頑張りましょう。

数学の楽しさ 五組 山本 稀央 さん  
みなさんの中には、数学が苦手、嫌いという方が少なからずいると思います。私は図形問題が苦手なんです、三角関数などの授業はあまり楽しみには思えていませんでした。しかし、間違った問題を見直す時、同じような所で間違っていたことに気がつき、それ以降は同じ問題で間違えることがなくなり、解ける問題も増えていきました。私は、数学の楽しさは、こういう所にあると思います。みなさんも、分からない問題を一つずつ克服していけば、苦手意識もなくなるはずですよ。そして、少しでも数学が好きだと思ってくださったら嬉しいですよ。

小論文模試について  
午前中授業が始まる三月二十日(月)に小論文模試を実施します。第五回調査後には小論文のパンフレットを配布しますので、事前に少し練習し、当日の模試の前には講師先生の講演を聞く予定です。

### 読書感想画コンテスト表彰

夏休みの宿題の定番に読書感想文があります。あまり知られていないのですが、読書感想画もあります。読書感想文と同じように西播や県でのコンテストが行われて最優秀賞や優秀賞が送られています。読書感想文については、校内表彰と西播表彰を「みんなよくなれ」で紹介しました。今回、読書感想画で29回生の二名が西播で表彰を受けました。また、校内選考は美術の野村先生がしてくださり七名の作品が西播での審査を受けました。校内選考に残った七人の作品名と西播で優秀賞と佳作に選ばれた二人のコメントを紹介します。

- 西播読書感想画コンテスト
- 優秀賞 「あの日」 一組 小林 真紀子 さん
- 佳作 「血の運命」 四組 伊藤 葛 さん
- 読書感想画西播出品作品の紹介
- 「ほどほどに頑張るから。」 二組 佐多 柚香 さん
- 「time」 〃組 古田 有希 さん
- 「憧憬」 五組 大隅 志乃 さん
- 「理想と現実」 〃組 後藤 美温 さん
- 「『たけ』の世界」 〃組 宮地 娃衣 さん

ニワトリと自分 西播優秀賞 一組 小林 真紀子 さん  
まさか賞をいただけるとは思っていませんでした。受賞したと聞いたときは、「へえ！おめでどう！...いや自分やん」というような感じでした。嬉しさよりも先に驚きが強かったです。今回の作品ははじめて『西の魔女が死んだ』を読んだときに私が想像した世界を描いたものです。思っていた感じには出来なかったけれど、この本を選んで良かったと思います。本当にありがとうございます。



見えないものを絵に 西播佳作 四組 伊藤 葛 さん  
『血の婚礼』は片田舎の閉鎖的な風土や因習、そのなかで絡み合う男と女の愛憎を描いた作品です。一人の女とそれを巡って争う二人の男。一見単純な構図であっても読んでみるととても深い物語です。そんな三人の関係性から結末までを一枚の絵に込めました。特に、色の表現の仕方にこだわりました。彼らを繋ぐもの、そしてそれらを取り巻くものなど、物語の背景までうまく表現することができたと思います。



### 29回生ドッジボール大会

一月十三日(金)七時間目に体育館で学年レクレーションを行いました。種目はドッジボールでした。ボールは生徒会から借りた大きくて柔らかいボールを使用しました。学年単独で行うレクは初めてでしたが、急速クラス横断でAからFの6つのチームを編成しました。まずABCのチームがステージ側でグループリーグを戦い、入り口側でDEFのチームがグループリーグを戦いました。そしてそれぞれ一位のチーム同士が決勝戦を、二位のチーム同士が三位決定戦に進みました。



- 試合結果は次の通りでした。
- 優勝 Aチーム
- 二位 Fチーム
- 三位 Eチーム
- Aチームのメンバー紹介
- 南勇 菅原碧 山本一 若林 高石 片岡拓 植田 正野
- 川江 千古 藤井悠 三木 小松 渡辺幹 吉田 西垣
- 川崎 松尾 森 伊藤尚 浦川 田路祐 中島 日野
- 藤本 福田祐 ※敬称略

最高で最強のチーム Aチームキャプテン 三組 渡辺 幹太 さん  
今回のドッジボール大会では、メンバーが学年全体でごちゃ混ぜになっていたので、私は少し不安だった。しかし、いざチームメンバーを見てみると、前から仲の良かった人が多かった。今回、思ったよりも人数が多く、皆が積極的にボールを投げていて良かったと思う。今回、本当に皆が強かったのが勝ったと思う。私はあまり役に立てた気がしないが、皆で楽しく交流ができたのではないかと思います。またこのような活動をしたと思う。



### 2月以降の行事予定(1年生関連)

- 2月
- 13日(月) 高校入試会場準備 16時完全下校
- 14日(火) 生徒登校禁止 ~17日
- 15日(水) 高校推薦入試
- 20日(月) 合格者発表 1時間目は9:00~4:5分
- 27日(月) 卒業式予行、表彰式
- 28日(火) 卒業式
- 3月
- 1日(水) 第5回定期考査初日
- 7日(火) 〃 最終日 寮大掃除・役員改選
- 8日(水) 生徒休業日
- 11日(土) 入学者説明会
- 14日(火) 球技大会(午前)
- 17日(金) 中学校義務教育修了式 生徒休業日
- 20日(月) 午前中授業開始 3限 小論文書き方講座 4限 小論文模試
- 23日(木) 終業式、追認考査